

ASEAN諸国をカンボジア王国観光大臣が表敬訪問(5月1日)



東北ブロック両議員会にて党三役へ申入れ(4月26日)

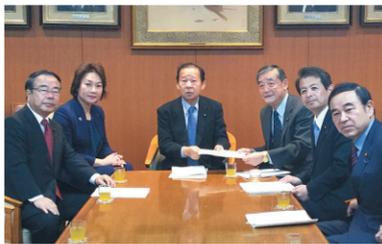


大島理森と女性の躍進を語る集い(八戸市、4月15日)



自民党プレミアム・ウィメンズクラブ開講式(3月31日)

自民党人材育成PTにて、二階幹事長へ提言の申入れ(2月13日)



決めるべき時に決められる政治を。今後も気を引き締めてまいります!

たかがい恵美子 参議院議員



プレミアム・ウィメンズクラブについて記者会見(2月24日)

安倍総理、吉野復興大臣とともに宮城県の被災地を視察訪問(5月2日)



参議院自民党女性議員による街頭演説会(新宿駅西口、4月21日)



「みやぎ復興応援フェア」自民党本部前(4月5日)



自民党青年部・青年局、女性局合同全国大会(3月4日)



恵泉女学園大学&あい・ぼーとが主催した「生涯就業力講座」(3月10日)



座長を務めた肺健康学会「結核対策：法令と政治的関与」(3月25日)

政治女子を育む政治塾スタート

前号でお知らせした党人材育成については、提言の公表後速やかに企画を立案し、プレミアムフライデー開始と同時に、政治女子のための政治塾「プレミアム・ウィメンズクラブ」を開講しました。10代から60代まで幅広い年代の女性有権者が全国から100名以上ご応募くださり、選ばれた71名に受講いただいております。この中には助産師、看護師、看護学生が複数含まれており看護職の政治意識の高さがわかります。プレミアム感満載の充実したプログラムで、全国に政治女子を増やし

感染症克服への永い道程

今年の世界結核デーは、国際結核・肺疾患予防連合アジア・太平洋地域支部主催「肺の健康学会(通称APRC)」が東京で開催されました。私は、結核対策の法令と政治的関与に関するシンポジウムで座長を務めました。過去の病と言われがちな結核ですが、わが国の罹患率は未だ14を超えており、低蔓延国入りできておりません。とくに高齢者の罹患と治療の複雑化、大都市部における若年層の感染や集団感染、多

たいと意欲を燃やしています。

女性の健康科学の普及をめざす

3月1日に都内で開催されたシンポジウム「女性が輝き続ける社会へ〜Women's Health Action」はテレビや新聞各紙に大きく取り上げられ、女

性の生涯に渡る健康についての理解が広く社会に浸透しつつあることを感じます。自民党全国女性局長・代表者会議においても、政財界及びスポーツ界を代表する女性パネリストをお招きし「女性の健康と社会参加」について議論しました。また都内で活動するNPO法人と大学が主催した「生涯就業力講座」では、自民党を代表して与野党の女性国会議員等と登壇させていただきました。今後の女性施策と子育て支援政策について意見を交わしました。

子育て、親育ち、家族育ち

子育て健康手帳セミナーも18回目となり、各国における普及活用状況がフィードバックされるようになってきました。我が国においては母子保健法上に手帳交付が義務づけられております。赤ちゃんがお腹に宿ったときから親子の歴史、家族の歴史が形づくられていくわけです。一方、諸外国にはこのような制度がありませんので、ツールとしての有効性を伝えるだけでなく、今後は定着を図る方策にも力を注いでいかなければならないと考えています。

女性の健康の包括的支援の実現に向けた提言を2014年4月に公表して以降、私は一貫して、女性の健康科学の振興に取り組んでまいりました。今日、一年を通して各所で様々な啓発活動が展開されるようになってきたことを、とてもうれしく思います。ますます奮起してがんばりますので、皆様引き続き、お力をお貸しください。

現場第一主義で復興創生を加速

5月2日、GW直前に就任した吉野復興大臣とともに、34回目となる安倍総理大臣の被災地訪問に同行しました。東日本震災が発生したとき、私は当選8か月の新人でした。党災害対策本部事務局の医療支援班長を命ぜられ、多くの先輩議員等関係者のご助言をいただきながら対応にあたらせていた

決めるべき時に決める政治を

今国会は予算を年度内に成立させ、数々の重要広範議案も当初予定された会期内に収めることができ、概ね順調と評価されました。しかし、厚生労働委員会では、多くの課題を残しました。

例えば、措置入院後早期からのケア体制を整え支援することを盛り込んだ精神保健福祉法が成立に至らず、衆議院で止まっています。精神科診療ではこれまで、入院期間が長期にわたる場合の社会復帰に向けた支援に重点が置かれ、早期からの継続的な退院調整には十分な手当てがなされておりません。この法案が通ることにより、来春の同時改定に向けて技術評価に弾みがつくことを、私は期待しておりましたが、残念ながら先送りとなってしまいました。様々な局面での与野党の攻防はありますが、決めるべき時に決めることのできる責任ある政治力が発揮されるよう、気を引き締めてからなければと思います。

厚生労働委員会は他の委員会と比較して多くの法案を抱えているので、国会での審議時間は毎回最多となり、概ね他の3倍程度を要します。今国会においては、理事の私も一般質疑2回(4月4日、5月30日)、参事質疑3回(3月28日、4月13日、5月23日)を行いましたので、お時間のあるときには審議の様子をご覧いただければ幸いです。

参議院インターネット審議中継 http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php